

宇都宮むねやす後援会ニュース



大洲市議会議員

宇都宮むねやす

● 宇都宮むねやすホームページ
<http://muneyasunet>

2013年1月発行
第13号

(収納率93.3%)
累積額は約6,070万円(収納率69.2%)です。

昭和58年度から累積している事例もありますが、提訴実績は無く、明け渡し請求に至る一歩手前の自主退去等は2件あります。

近年の不況等により、滞納累計額は

増加傾向ですが、電話・呼出や戸別訪問等の徹底した支払い指導を実施。今後新たな滞納者の増加阻止と、公平性のある徴収業務に努めます。

入居申込み手続きの翌年度継続は、申込み時直近の世帯状況、収入状況等の把握や、入居の意志の再確認という点も含め、従来どおり再度の申込みが必要です。

地方自治体の財政状況の悪化が継続する中、団地単位の建て替えや廃止を検討しており、需要全てを新たな市営住宅建設で対応するのは困難です。

家賃補助制度の研究も含め、効果的な事業を推進します。

悪質な滞納者に対しては、提訴も含め毅然とした姿勢で対応を期待する。また、ボランティア同様の管理人に、市の代理人のような業務を委託するのは望ましくない。

短期的な滞納者を長期滞納へ遷移させないよう、全力で取り組みます。

なお、提訴という手段が最も有効な場合は、決然と行います。

管理人の方々は、団地内の諍いの解決等、様々な面で活躍されています。市も、申しわけないと思いつつお願いをしている現状です。

自治会組織の設立や自主運営等の改善策を検討します。

再々質問

ドアの鍵を替えるような悪質な入居者が現実存在している。なぜ提訴しないのか。

再々答弁

悪質な滞納者に対し、呼び出しや反応を見つつ、最終的に明け渡し請求という段取りを踏んでいます。

再調査を行い、提訴に当たるとすれば、然るべき方向へ段を踏んで進めます。

大洲市営住宅条例

- (住宅の明渡し請求)
- 第41条 市長は、入居者が次の各号のいずれかに該当する場合において、当該入居者に対し、当該公営住宅の明渡しを請求することができる。
- (1) 不正の行為によって入居したとき。
 - (2) 家賃を3月以上滞納したとき。
 - (3) 当該公営住宅又は共同施設を故意に毀損したとき。
 - (4) 正当な理由によらないで15日以上公営住宅を使用しないとき。
 - (5) 入居者又は同居者が暴力団員であることが判明したとき。
 - (6) 第11条第1項、第12条第1項及び第22条から第27条までの規定に違反したとき。
 - (7) 公営住宅の借上げの期間が満了するとき。

高齢者見守りネットワーク確立

近年の家族構成や生活様式の変化に伴い、近隣住民との付き合いが希薄化し、「孤立死」や「孤独死」が社会問題となっています。

3年間の議員活動で、3回に渡る一般質問を繰り返す中で、大洲市も民間事業者の協力により、高齢者の安全・安心の確保の為にネットワークを確立する運びとなりました。協定先として、新聞販売店・生活協同組合・郵便局などが浮上しています。

連絡先は、地域包括支援センター・在宅介護支援センターに一元化され、協定事業者・支援センターとの間で情報の共有化がされる事により、少しでも安心社会の実現を望むものです。

定例議会報告

市営住宅の家賃滞納問題

質問

平成23年度決算で、市営住宅使用料の滞納額が累積6千万円以上と報告された。

大洲市営住宅条例では、家賃3カ月以上の滞納等の理由で「明け渡し請求」が出来るように定めている。

公営住宅の運用は、住宅に困窮する低所得者への公的扶助に基づいており、构子定規に運用すべきではないが、公平な対応を求める住民の声にどう応えるのか。

① 多額の滞納額に至った経緯と現状を明らかに。

② 長期滞納に対し、明け渡しの提訴をしたことはあるのか。

③ 市営住宅入居待機者(22件)は、次年度に継続出来るのか。

④ 入居希望者が同地域に集中しており、一括交付金や有利な起債を活用して、新たに建設するの一案ではないか。

答弁

滞納額は、H23年度分が約920万円

質問

6月議会で「地域見守り活動による孤立・孤立死の防止」は、訪問業務事業者等との連携協定の成否が鍵となると質問。市は「大変有効であり、協定を検討したい」と答弁した。

県内でも同様の協定や、訪問業務事業者協定に対する追加調印等が行われ、各市で独自のネットワークが創られている。

① 協定締結に向けた取り組みの経過を明らかに。

答弁

市内事業者から協力的な意見もいただきましたが、不特定多数の方への情報提供に、慎重な姿勢もあります。

今後、支援対象者や情報の範囲、それに基づく受付窓口、支援体制等を整理し、準備が整い次第実施します。

再質問

高齢者の安否確認は時間との競争と考えている。牛歩のごとく着実な進展を否定はしないが、速やかなネットワークづくりを期待する。

再答弁

整備にむけ、現在事業者の方々と調整、協議を行い、期待に添えるよう努力します。



肱川の堤防強度や減災対策

質問

今年は、毎年のように繰り返される洪水被害がなかったものの、全国各地で観測史上最高雨量を記録した。

熊本市街を浸水させた白川の上流では堤防が決壊。

堤防から水が噴き出した目撃証言や、土砂で固めた堤防内部がえぐられていた状況等、肱川でも教訓とすべき点があった。

① 本流や支流堤防に不備は起きているか。

② 肱川の堤防建設にも大量の砂が利用されている。強度等に問題はないか。

③ 本流の洪水水位上昇により、肱川区で内水被害が起きている。その原因と対策は。

④ 柚木・山高・白滝地区の排水能力を高めるため、大型ポンプ等のレンタルを求めたが、その後の内水減災対策の進捗を明らかに。

答弁

漏水は、過去の台風の際に数箇所確認し、その都度、原因究明と対策を講じています。

今後、巡視等による早期発見を要請します。

また、川砂の採取場所等は、昭和30年以前の記録がなく不明ですが、昭和40年代前半まで、河床材料を堤防に利用しています。

なお、平成18～20年度には「浸透に関する安全性」の点検が行われ、堤防補強が必要となった新谷地区（帝京高校区間（1.2km）は、今年度中に完了し



ます。

肱川区の内水被害は、居住地側の雨水排水や堤防付近からの漏水等が起因しています。

対策として、排水路整備やポンプによる排水等が考えられ、今後、国土交通省と協議・検討し、適切な対応を行います。減災対策は、行政・消防・自主防災組織で組織した連絡会で、排水ポンプの活用等も含めた減災計画を策定し、25年度より事業を実施します。

再質問

肱川区の内水被害は、本流の影響が明確で、国交省に対する早急な要請を。

再答弁

肱川減災対策計画の中に盛り込むよう要請し、適切に対応します。

避難訓練と原発再稼働

質問

先般、原発事故を想定した二度目の県防災訓練が実施され、バスを主体に避難を行ったが、参加者は「事故時にこのように悠長な避難が出来るか」と疑問視している。



スクリーミング

再質問

また、伊方原発再稼働は政府・安全規制委員会が安全と判断。従来どおり立地自治体の決定で再稼働される。

① 事故時には平坦な道路は利用が制限される。その中で避難を想定しているか。また、市民の避難場所は確保されているのか。

② 安定ヨウ素剤の配布に何らかの対策を取らないのか。

③ UPZ圏内でありながら、再稼働問題に市民の声を反映できないことをどう考えるか。

答弁

避難場所の確保は、県が改定中の広域避難計画で対応。地域コミュニティの維持や、避難施設の環境整備も協議・調整を行います。

避難計画では、自家用車・公共交通機関の避難、さらに海・空の多様な手段を想定。

また、地域の道路事情等に精通する消防団、自主防災組織等と協力し、避難誘導の人員確保に努めます。

安定ヨウ素剤の各家庭配布は、配布方法や服用指導、副作用対策や経費負担、補充体制等の課題があります。

今年度、30km圏内服用対象者の必要数量を、県が配布します。今後示される指針や、地域防災計画等との整合性を図ります。

再稼働は、国が安全性を示し、万全の安全対策と危機管理体制のもとで実施するべきです。

UPZ圏内、30km圏内の市町の意見をとりまとめ、県が最終的な判断を行うことが妥当と考えます。

再質問

① 安定ヨウ素剤の各戸毎の配備を要望したい。

② 原子力発電は、温暖化対策や発電コスト面の「明」の点と、10兆円とも言われる原発事故処理や廃炉

費用の「暗」の点がある。市として原発の必要性をどう考えるか。

再答弁

薬事法等の現実的な課題もあります。最も必要とする子供が速やかに摂取できるように、指針を踏まえつつ、実効性のある対策を国や県に働きかけます。

原発問題は、再稼働も含め、これまで国民生活を支えてきた実績と、事故のり

飲酒運転撲滅



質問

学校教員の度重なる飲酒運転違反を憂い、これまで二度の質問を行った。

「飲酒運転検知器の導入」も提案したが、運行状況等で困難とし、再発防止と信頼回復にむけて指導徹底することを確約した。

しかしながら、11月18日、当日非番のスクールバス運転手が、自家用車による飲酒運転事故を起こした。

数か月前には交通法規研修会を受講しており、市の指導や再発防止策だけでは効果のないことが明白となった。

答弁

今回の事件を受け、アルコール検査の導入と、スクールバス等などの運行全般を専門事業者に委託する検討を始めました。

さらに、一般の職員も含めた安全運転講習会を12月26日に再度実施。法令順守と飲酒運転の根絶にむけて、率先垂範の精神で努めます。



アルコール検知器